



Telephone Exchanger

第3電電R2

4回線の電話回線疑似交換機



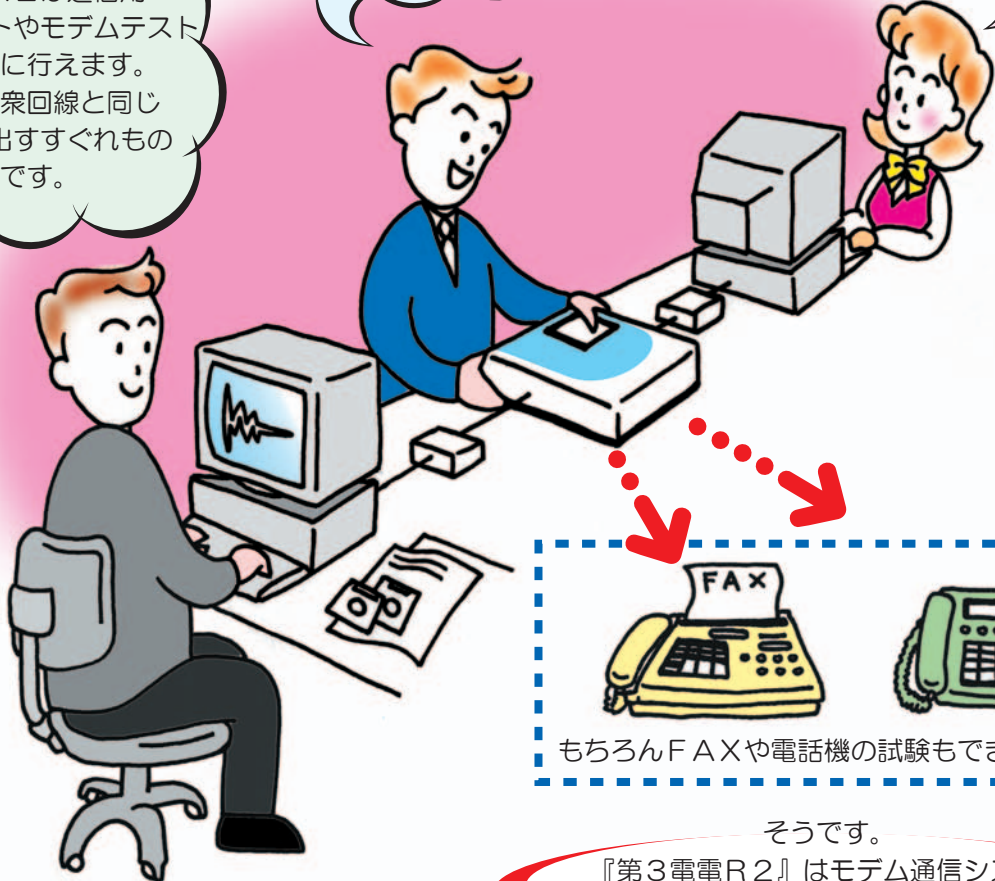
Model: N4T-EXCH

- 第3電電R2は電話回線の交換動作を疑似的に行う装置です。回線数は4回線で電話機等を4台まで接続でき同時2通話ができます。
- 電話機やFAX等の試験、通信用ソフトウェアのデバッグ等に使用することができます。
- 試験モードにする回線単独でも、PB信号モニタや各種の信号（DT、BT、RBT、IR信号等）を送出することができます。

第3電電R2は通信用ソフトのテストやモデムテストなどが簡単に行えます。つまり、公衆回線と同じ状態を作り出すすぐれものなんです。

回線が切れた時などを想定した機能がついていてこれならテストが楽にできるね。

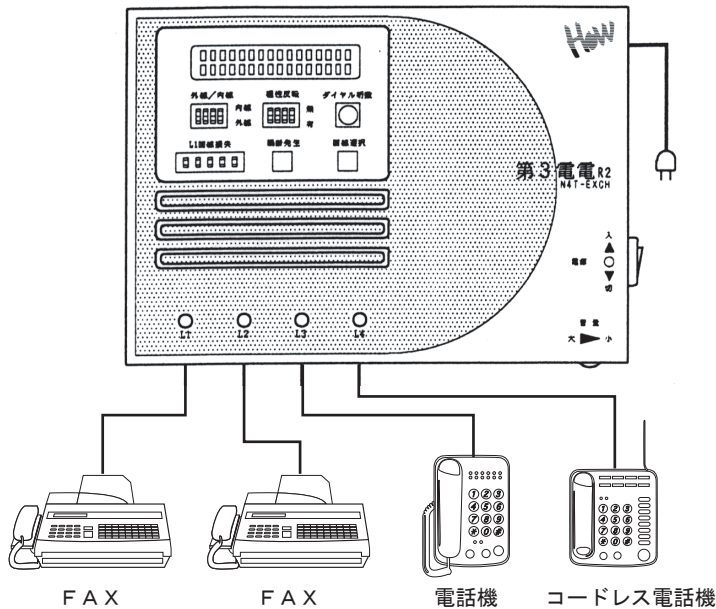
イベント会場で回線がなくてもデモができたり、電話として使えるから、とても便利ね。



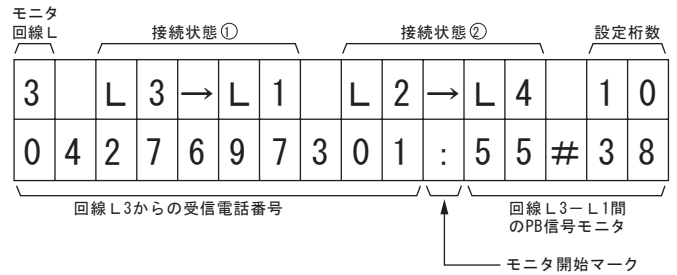
もちろんFAXや電話機の試験もできます。

そうです。
『第3電電R2』はモデム通信システム開発の必需品なのです！

●第3電電R2の接続例



●LCDの表示例



●特長

1. ダイヤル番号の全桁数表示 (16桁×2行 LCD表示)
2. 瞬断発生機能
3. 回線損失アッテネータ (0~31dB) L1回線のみ
4. 各種の試験信号送出 (ダイヤルトーン、ビジートーン、リング etc.)
5. 回線のスピーカモニター PB信号モニター
6. DP/PB信号自動判別 (DP10PPS / 20PPS、PB)
7. 回線極性反転 有/無 設定可能
8. 発信動作の外線/内線 設定可能 (第2ダイヤルトーン送出)
9. ダイヤル桁数設定 (1~15桁)
10. 回線のフック状態、呼出し及び接続状態表示

●動作

一般のアナログ公衆回線規格に準じた動作を行いますので、アナログ端末機器等 (電話機、電話モデム、FAX、etc.) を試験する場合、公衆回線に接続することなく機器の試験を行うことができます。

1. 被呼先掛強切タイミング (3秒)
2. 受話器外しタイミング (25秒)
3. 部分ダイヤルタイミング (25秒)
4. 信号弁別タイミング (200mS)
5. 発信側終話極性反転 (600mS)

●用途

1. 通信用ソフトウェアのデバッグ
2. 端末機器の試験、調整等
3. 電話機、FAX等のデモンストレーション
4. 各種イベントの仮設電話機として
5. パソコン通信の実習等

●注意事項

1. 本装置は公衆回線に接続することはできません。

●仕様

項目	内容	
入力電源	AC90V~AC110V 50/60Hz MAX. 30VA	
外形寸法	260 (W) × 185 (D) × 45 (H)	
重量	1.8Kg以下	
使用条件	保存温湿度 : -10°C~50°C 0%~80%Rh 使用温湿度 : 5°C~40°C 0%~80%Rh 但し結露しないこと	
回線数	4回線 (同時2通話可能)	
回線性能	周波数帯域 : 300Hz~3.4KHz 通話損失 : 600Hz~3.4KHz 6dB以下 PB入力レベル : -30dBm~0dBm 回線電流 : 20mA~30mA インターフェイス : モジュラーコネクタ	
信号規格	回線開放電圧 : DC48V <送出レベル> ダイヤルトーン : 400Hz 連続音 -20dBm 第2ダイヤルトーン : 400Hz 断続音 -20dBm 125mS ON/125mS OFF ビジートーン : 400Hz 断続音 -20dBm 500mS ON/500mS OFF リングバックトーン : 400Hzを16Hzで変調 -20dBm 断続音 1秒ON/2秒OFF インターリングング : 16Hz 断続音 AC80Vrms 1秒ON/2秒OFF	

●お問い合わせ先

開発・製造・販売



〒252-0237 神奈川県相模原市中央区千代田1-11-17
TEL. 042-753-3616 FAX. 042-769-7300
URL ▶ <http://www.how.jp>

●このカタログの内容は価格・仕様・外観など予告なしに変更することがあります。